



令和7年度 帯広市立清川小学校 学校便り

清川小
HP
↓



清川

『子どもたちが笑顔で自分らしさを発揮し、生き生きと活躍できる学校』

学校教育目標 『考える子(知) 豊かな子(徳) 強い子(体)』

キャッチフレーズ 『笑顔あふれ 心あったか 清川っ子』

重点(目指す子どもの姿)

【あいさついっぱい】 【チャレンジいっぱい】

【えがおいっぱい】 【おもしろいっぱい】

開校60周年テーマ

『未来へバトンをつなごう～清川っ子60年の物語～』

令和7年11月11日発行 No.14 (文責 新津 貴裕)

✧ 開校 60 周年記念学習発表会を終えて ✧

昭和41年5月1日、この地に清川小学校が誕生してから迎える実に60回目となる記念すべき学習発表会を11月7日(金)、児童、保護者・地域の皆様参加のもと、開催いたしました。開校60周年テーマ「未来へバトンをつなごう～清川っ子60年の物語～」のもと、子どもたち一人一人が力を合わせて心を込めた発表を行いました。

🎵 低学年の発表 ～声と体で心をひとつに～ 🎵

1・2年生は、清川小学校の一日と題し、スイミーの音読やダンスによる発表を行いました。大きな声でスイミーを音読する姿には、言葉のリズムや想いを伝えようとする一生懸命さがあふれていました。ダンスでは、元気いっぱいの笑顔と動きで会場全体を明るく包み込み、見ている人の心を自然と温かくしてくれました。入学から半年余りでここまで成長した1年生の子どもたちの姿や2回目の学習発表会を迎え一回り大きく成長した2年生の子どもたちの姿に、保護者の皆様も思わず目を細めていらっしゃいました。

🎵 中学年の発表 ～力とリズムで表現する喜び～ 🎵

3・4年生は、体育的な動きを中心に、鉄棒・跳び箱・ダンス・リズム表現などを組み合わせた発表「チャレンジ! 2025!!」を披露しました。一人一人が「できるようになりたい」という目標をもって取り組み、技の完成度だけでなく、仲間と息を合わせる協力の大切さを感じ取る姿が印象的でした。BGMやリズムに合わせて繰り広げられる動きは迫力があり、会場からは大きな拍手が送られました。子どもたちの努力と成長が輝く、まさに「チャレンジと達成のステージ」でした。

🎵 高学年の発表 ～世界へ広がる学びと響き～ 🎵

5・6年生は、器楽演奏と国紹介をテーマに、これまでの学習を生かした発表を行いました。合奏では、練習を重ねて仕上げた音のハーモニーが体育館いっぱいに広がり、観客の心を揺さぶりました。国紹介では、英語を交えながらそれぞれの国の文化や特色を分かりやすく伝え、見ている人たちに「世界とつながる学びや平和の尊さ」を感じさせてくれました。高学年らしい堂々とした発表は、下級生にとっても憧れの姿となったことでしょう。

🎵 全校合唱 ～60年の感謝をこめて～ 🎵

今年の発表会での全校児童は「勇気100%」と「ビリーブ」を披露しました。学年を越えて一つの声にまとまるその響きは、60年の歩みを支えてくださった地域・保護者の皆様への感謝の気持ちがこもったすばらしいものでした。体育館に響く歌声に、多くの来場者が胸を熱くしていました。

開校60周年という節目の年に、このようなすばらしい学習発表会を全児童参加のもと、無事に開催できたことを心から嬉しく思います。発表の中で、子どもたちは「仲間と協力する力」「自分の思いを表現する力」「一生懸命にチャレンジする気持ち」「感謝の心」をしっかりと見せてくれました。それぞれの学年が、自分たちの学びを形にしようと真剣に取り組む姿に、これまでの60年間の教育の積み重ねと、これからの未来への希望を感じました。

また、多くの保護者・地域の皆様に温かい拍手と励ましをいただき、誠にありがとうございました。皆様の支えがあってこそ、子どもたちは安心して学び、成長することがができます。清川小学校はこれからも、子どもたち一人一人が夢と希望をもって学び続けられる学校づくりに努めてまいります。

どうぞ今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



帯広市立清川小学校 開校 60 周年記念学習発表会より

スマホと読書の関係は・・・

先日読んだ北海道通信社の記事に「スマホと読書に負の相関」という記事が掲載されていました。その記事によると、1日に読書をしない子どもの割合が、10年前の34.3%の1.5倍となる52.7%に増加したこと。1日当たりの読書時間は小中高全ての段階で減少していること（小学4～6年で6.3分、中学生5.9分、高校生4.9分）。



一方、スマートフォンの利用時間は、小学4～6年生で33.4分（10年前は11分 + 22.4分）、中学生で95.7分（10年前は43.8分 + 51.9分）と増加傾向であること。スマートフォンの使用時間が長いほど読書時間が短いことが研究結果から明らかになったことが記載されていました。

文部科学省の「子供の読書活動の推進等に関する調査研究」を調べてみると、小学生があまり本を読まない理由は、

- 1位 他にしたいことがあったから 53.9%
- 2位 読みたいと思う本がないから 40.2%
- 3位 ふだんから本を読まないから 39.1%

という結果が出ていました。本を読まない理由の回答をみると、小学生に比べ中学生・高校生では「時間がなかったから」と回答する割合が高いことも記載されていました。

皆様のご家庭はどうでしょうか？学校では、朝読書の時間を設定し、子どもたちが読書活動に取り組んでいます。また、図書ボランティアの皆様には、読み聞かせ活動や図書室環境の整備など子どもたちが読書に親しめる環境づくりにご尽力いただいております。校長室前には、子どもたちが興味をもち気軽に読めそうな本を用意しています。一人でも多くの子どもたちが、読書って楽しいとか面白いと感じてくれたらと思っています。

以前から読書量の少なさは、語彙力や読解力にも大きく影響すると言われています。毎日少しずつでよいので、継続して読書に取り組むことが、子どもたちの大きな力につながっていくのだと思っています。



読書貯金満期

1年	さん	4回目
1年	さん	4回目
1年	さん	3回目

